

26. 令和2年度大分県高等学校新人フェンシング競技大会実施要項

- 1 主催 大分県高等学校体育連盟
- 2 期日 令和2年11月7日(土) 9:00～ 開会式
9:10～ 団体戦 競技開始
- 3 会場 大分県立情報科学高等学校 多目的競技場
- 4 競技種目 (1) 団体戦 男子・女子(フルール・エペ・サーブル)
(2) 個人戦はなし
- 5 競技規則 令和2年度(公社)日本フェンシング協会試合規則に準ずる。
- 6 競技方法 (1) 1チーム5名編成で、3名の選手によるリレー方式とする。
(2) 男女とも45本勝負で試合時間は、3分(実働)とする。
各対戦での試合順序は次のとおりとする。
3-6 1-5 2-4 1-6 3-4 2-5 1-4 2-6 3-5 ☆
(3) 試合方法は、トーナメント方式とし、① 各対戦は、9試合目で45本を先取した方、または、9試合目が終了した時点で得点の多い方を勝ちとする。
② トーナメントのシードについては、当日抽選とする。
※何らかの理由で選手が2名となった場合、そのチームを棄権とし最初から出場していなかったものとする。
(4) リザーブに指定された選手の交替
① 監督はプレジダンに対し、メンバー表提出時にリザーブに指定した選手と他の1選手との交替を1試合(学校対抗)に1回だけ請求できる。
② この場合、被交替選手は1試合(個人)を終了していなければならない。
③ 選手の交替は、当該試合の1試合前までに監督がプレジダンに通告しなければならない。
④ 被交替選手は、その試合(学校対抗)にもう一度交替した選手と交替することができる。ただし、事故や避けられない状況による2度目の交替は認めない。
(5) 選手が試合順序を間違っただけで出場した場合
誤った対戦順で行われた試合はすべて無効とし、正しい対戦順で行われた最終試合の次の対戦から再開する。
(6) 試合が連続する場合の休息
学校対抗では最大限15分とする。
- 7 参加資格 「令和2年度大分県高等学校新人大会実施要項」の参加資格に準ずる。
- 8 参加制限 (1) 各校男女とも、1校1チーム最大5名とする。
(2) 2名以下の場合参加不可。
(3) フルールに参加する選手は、エペもしくはサーブルへも参加できる。ただし、エペとサーブルの両方にはエントリーできない。
- 9 参加申込 (1) 締切日 令和2年10月16日(金) 必着
(2) 方法 申込用紙はホームページから入手し、下記により期限内に行う。
ア. 様式により作成し、1部印刷・捺印して下記に郵送する。
イ. 承認を得た申込書電子データはメールでも送信する。(ファイル名:競技/校名/監督名)
※大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。
(3) 宛先 〒870-0931 大分市西浜4-2 大分商業高等学校内
専門部副委員長 漆間 雄昌 あて
メールアドレス uruma-takemasa@oen.ed.jp <データ受付期限:10月16日12:00必着>
※県立学校の申込は、庁内連絡をお願いします。
- 10 参加負担金 選手1人(補欠を含むエントリー) 加盟校600円・非加盟校1000円。大会当日の受付で納入する。
- 11 出場権の獲得 男女とも、団体戦の優勝校に第37回九州高等学校選抜フェンシング競技大会の出場権を与える。
- 12 感染症等の対策 (1) 感染症等の対策については、別紙に掲げる留意事項を遵守すること。
(2) 競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

感染症等の対策に関する留意事項について

1 全競技共通事項

- (1) 生徒の参加については、参加同意書を提出すること。
- (2) 参加する学校は、選手・監督の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること
- (3) 競技専門部は、競技役員等、来場者の体調管理表及び行動履歴表（別紙様式）を作成すること。
- (4) 発熱等の症状がある場合は、参加を見合わせる。（当日の体調急変を含む）
- (5) 参加者は、マスク着用（息苦しさを感じた時は外す）、咳エチケット、こまめな手洗いなど、基本的な感染症対策を徹底すること。
- (6) 競技会場各所に手指消毒薬を、トイレ等には手洗い用石鹸を準備すること。
- (7) 大会は、無観客を原則とする。
- (8) 密閉を避けるため、定期的に会場の換気を行う。
- (9) 密集を避けるため、人が集まる場面では1～2メートル程度あけさせる。更衣室等の利用に当たっては短時間の利用とし一斉に利用しない。
- (10) 密接を避けるため、握手やハイタッチなど身体的接触をしない。近距離での会話や発声をしない。
- (11) 各専門部が作成する実施要項及びプログラム等に「感染症等の対策に関する留意事項」を明記すること
- (12) 感染防止対策を講じていても、県内の感染状況等に鑑み、急遽、大会中止や延期となる場合がある。

2 フェンシング競技における3密（密閉、密接、密集）の回避対策

【大会本部】

- ・主催者で消毒液を用意し、会場内に設置する。（別紙会場レイアウト）
- ・会場内のトイレに液体せっけん消毒液を設置する。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分する。
- ・会場内を定期的（30分1回）に換気する。
- ・選手、監督、役員のみを入場者とする。
- ・試合終了後は、速やかに次チームと入れ替わるように指示する。
- ・試合開始・終了時の挨拶は握手をせずに礼のみを行う。
- ・役員・審判はマスクの着用を義務とする。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは禁止する。
- ・会場内の人数を減らすために、試合の順序等により、会場への入場時間を定める。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分している。
- ・競技者以外は、荷物控え場所にて待機し、選手待機席には近づかない。
- ・選手への指示は、放送によりアナウンスする。
- ・飲料水は、コップなどで共有せず、個人で準備する。
- ・ゴミは、各学校・個人で持ち帰る。

【選手・役員・保護者等】

《密閉》

- ・室内の競技会場、更衣室、控室等は、こまめな換気を行うので協力すること。
- ・更衣室や控室等は、利用時間や利用人数を制限する場合もあるので注意すること。
- ・役員・審判及び競技中以外の選手はマスクの着用を義務とする。
- ・選手への指示は、放送によりアナウンスするので注意すること。

《密接》

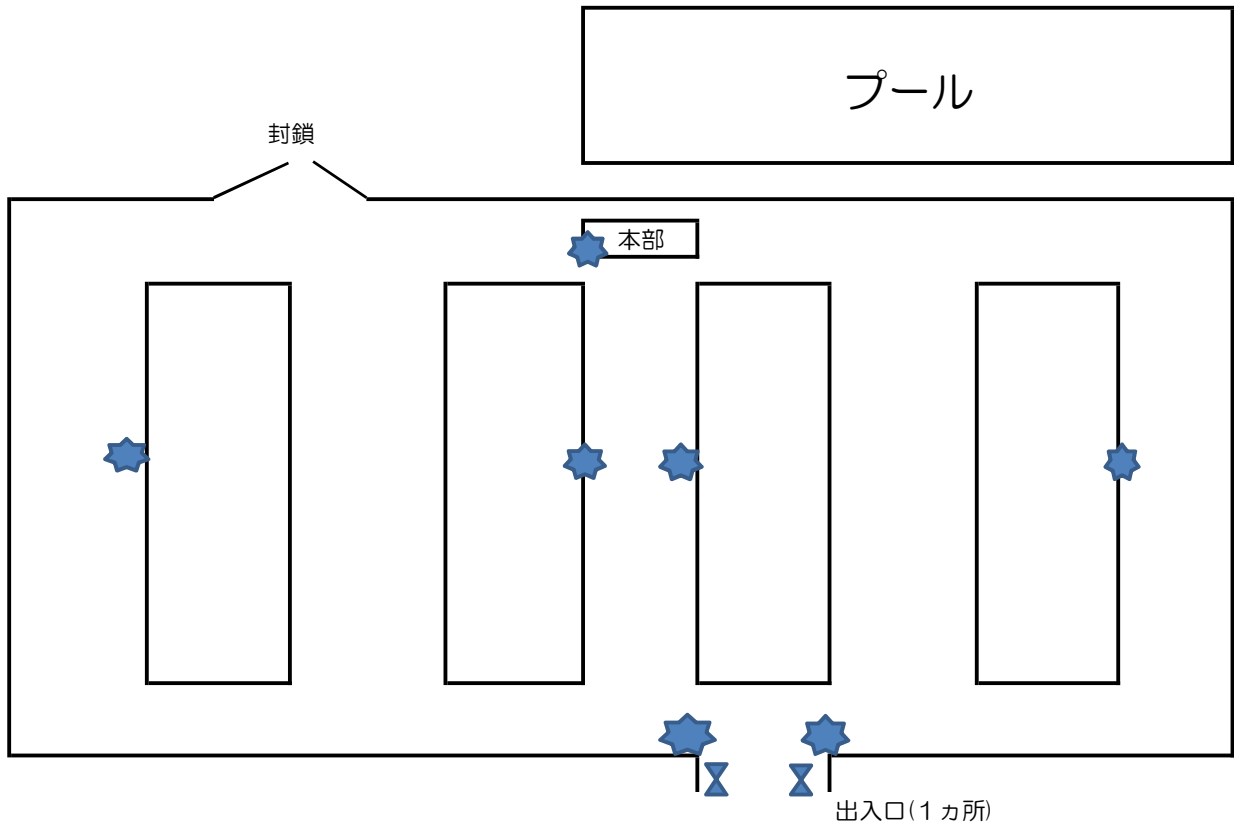
- ・近距離での会話や発声が必要な場合は飛沫を飛ばさないようマスクを装着すること。
- ・マスクを外さなければならない場合は、人との距離をできるだけ2m保つこと。
- ・競技中の味方同士でのハイタッチなどは避けること。
- ・試合開始・終了時の挨拶は握手をせずに礼のみを行うこと。

《密集》

- ・競技役員、補助員等の座席、観客席は、できるだけ2mの距離を保つこと。
- ・会場内の人数を減らすために、試合の順序等により、会場への入場時間を定めているので注意すること。試合終了後は、速やかに次のチームと入れ替わること。
- ・会場内で人との接触を減らすために、選手、役員、観客等の導線を区分しているので注意すること。
- ・競技者以外は、荷物控え場所にて待機、選手待機席には近づかない。
- ・競技中の応援は、飛沫防止のため控えてください。

令和2年度新人大会フェンシング競技会場レイアウト

会場 大分県立情報科学高等学校 フェンシング場



-  消毒液
-  体温計